

事業報告書

事業名：多文化共生 人材育成・活用	『第8回中区多文化フェスタ』 子ども向けワークショップ
報告日：9月28日	「折り紙でレジン細工のストラップづくり！」、「オリジナルの缶バッジをつくろう！」
開催日時：平成30年9月23日（日） 11：00～15：00	講師：なかく街の先生 クリエイター支援機構 臼田 克紀さん 小松 ななみさん 關根 阿衣麻さん
開催場所：開港記念会館 6号室	ワークショップの来場者：ストラップ 延べ75名 缶バッジ 延べ101名
対象者：多文化フェスタ来場者 主に子ども、親子連れ	

今回は、街の先生のクリエイター支援機構さんにお越し、折り紙を使ったレジン細工のストラップ作りと自分で描いた絵でオリジナルの缶バッジを作るワークショップを行いました。

缶バッジづくりは、自分で描いた絵がその場でバッジになるというのが楽しいようで、幅広い年代の子どもたちに興味を持って、参加していただきました。中には、大人顔負けに上手な絵を描くお子さんもおられましたし、親子で絵を描いて、できあがったバッジを比べて盛り上がったりしていました。また、絵を描くだけなので、外国人の方たちも気軽に参加できたようです。

一方、レジン細工のストラップは、折り紙で手裏剣を折り、それをレジン樹脂で硬め、鈴とストラップに取り付けるといってもおしゃれなものでした。お絵かき缶バッジよりも少し手間がかかるので、小さなお子さんにはちょっと難しかったですが、女の子やお母さん方にとっても人気でした。

外国人の参加者は、中国、アジア系の方が多かったのですが、欧米系の方も数名来られました。お絵かきや折り紙は、子どもたちは大好きですが、単に絵を描いたり、折り紙を折ったりするだけではなく、それらをバッジやストラップとして持ち歩けるので、良い思い出になったのではないのでしょうか。



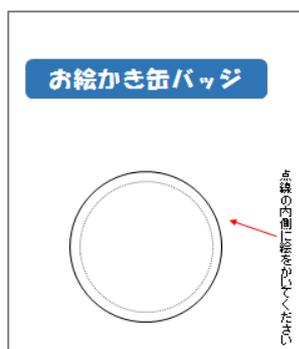
講師：クリエイター支援機構 臼田さん（一番左）



折り紙のレジン細工ストラップ



講師：クリエイター支援機構
 小松さん・關根さん（中央2名）



缶バッジ塗り絵台紙



缶バッジ完成品